

■（公社）日本地すべり学会関東支部 2024 年度総会・シンポジウム開催報告 （公社）日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

- (1) 開催日
令和6年5月9日（木）
- (2) 開催地
日比谷図書文化館（地下一階）大ホール
（東京都千代田区日比谷公園1-4）
- (3) 主催
（公社）日本地すべり学会関東支部
- (4) 来賓
（一社）斜面防災対策技術協会
関東支部長 佐藤健一氏
- (5) 参加人数
総会：28名，委任状86名，合計114名（定足数90名以上）
シンポジウム：67名，意見交換会：36名

2. 内容

- (1) 総会
新井場支部長の挨拶（写真-1）に続いて、来賓の佐藤健一氏によるご祝辞（写真-2）をいただいた後、議事に入った。議長は、事務局から櫻井正明氏（株式会社山地防災研究所）が推薦され、承認された。定足数・出席者数・表決書数・委任状数が確認され、定足数を満たしたため、総会及び決議が成立することが事務局より説明された。
第1号議案では、木村幹事長・齊藤副幹事長より、2023年度の事業報告及び決算報告がなされ、楠本監事による監査報告がされた。審議の結果、賛成多数で、本議案は了承された。
第2号議案では、木村幹事長より、支部長・副支部長・監事の選任に関する説明がなされ、審議の結果、賛成多数で、本議案は了承された。
この他、木村幹事長より、①支部役員の退任・選任に関する報告、②2024年度事業計画・予算に関する報告が行われた。
- (2) シンポジウム
シンポジウムでは、「ベテラン技術者の苦労話とそ

の教訓」をテーマとして、上野雄一氏より「地すべり解析測線設定に問題があった事例」（写真-3）、鴨井幸彦氏より「事例にみる地すべり調査のヒントとポイント」（写真-4）、下河敏彦氏より「X世代技術者の地すべり判読とこれから」（写真-5）と題して、それぞれ講演が行われた。講演後、新井場公德氏をコーディネータとして総合討論が行われ、ベテランも若手も交えて、活発な意見交換が行われた（写真-6,7）。最後に、新井場支部長による挨拶があり、シンポジウムは閉会となった。

3. おわりに

多くの皆様に、総会・シンポジウムの会場にご来場いただき、ありがとうございました。特に学生・若手技術者の育成や、経験豊富なベテランからの技術の継承に関して、活発な議論があり、各会員の立場によらず、共通の課題として認識されていることを実感しました。シンポジウム後には、新型コロナウイルス感染症により中止を余儀なくされていた意見交換会を、5年ぶりに開催することができました。そこでも参加者による活発な議論が続いており、学会としてこのような機会を提供することの重要性を再認識しました。今後とも支部の活動、運営にあたり、会員の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。



写真-1 総会・新井場支部長挨拶



写真-2 総会・来賓の佐藤健一氏によるご祝辞



写真-5 シンポジウム・下河敏彦氏ご講演



写真-3 シンポジウム・上野雄一氏ご講演



写真-6 シンポジウム・総合討論

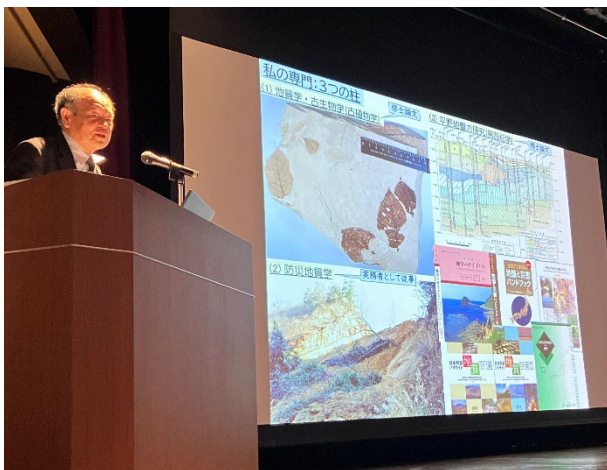


写真-4 シンポジウム・鴨井幸彦氏ご講演



写真-7 シンポジウム・会場の様子

(文責：関東支部幹事 経隆悠)